

第6次基本計画策定専門調査会（第7回）に関する意見

治部 れんげ

6次計画について、数多くの意見が寄せられている。

個別に回答することは難しいが、大まかに趣旨ごとにパブリックコメントの内容を分類し、それぞれに対して内閣府男女共同参画局の見解もしくは本会議としての見解などを発信することで、国民に対する説明責任（アカウンタビリティー）を果たす必要があると考える。

パブリックコメントは、これまでの審議会の方向性を加速することを求めるものもあれば、男女共同参画政策そのものに対する厳しい意見もある。それらに対し、真摯に向き合うことは、現在起きている世界的に人権・民主主義・法の支配に対するバックラッシュ—ここには男女平等に対するバックラッシュが含まれると認識している—の潮流への対応において重要であると考えます。